

式辞

漆黒の闇の中を、赤々と燃えるたいまつが、駆け巡る、

古都奈良・東大寺のお水取りもクライマックスが近づき、いよいよ本格的な春の到来を感じさせる今日の佳き日。

本来でしたら来賓の方々をお迎えし、皆さんの晴れ姿をお披露目するところですが、新型コロナウイルス対応のため、昨年に続き、来賓の臨席もかなわない卒業式となりました。

しかしながら、大阪市立玉出中学校「第69回卒業式」を、この様に盛大に挙行できますこと、卒業生と共に、厚く御礼申しあげます。

保護者のみな様、お子様のご卒業おめでとうございます。

ただいま、116名の卒業生に卒業証書を授与いたしました。

3年前に新入生として、玉出中学校の門をくぐられた時には、まだ子どももの面影が抜け切らず、幼かったお子様が、今こうして、逞しく成長された姿を、目の当たりにされ、お喜びも一入の事と、拝察いたします。

三年間、本校教育の推進に、ご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

第69期卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

私の話を聞いていただくのも、今日が最後となりました。

みなさんとは、三年間ではありましたが、この玉出中学校で、ともに生活をしてまいりました。

校長として、みなさんの為に、何ができたのか、楽しい学校生活が送れたのか、少々、不安ではありますが、しかし、明るく元氣なみなさんを見ると、自然に勇氣が湧いてきます。

「光陰矢のごとし」時間の過ぎるのが余りにも早く、「あっ」という間の三年間でした。

保護者のみな様も同じ思いではないでしょうか。

振り返って見れば、今年度も新型コロナウイルス対応に振り回される一年となっていました。

春から秋に延期になった修学旅行。

四国・中国地方への修学旅行は、四国から始まり着いてすぐ吉野川でのラフティング。

二日目は本州に戻り、平和記念公園・資料館での平和学習と平和セレモニー。午後から宮島での楽しかったフィールドワーク。

三日目の鷺羽山ハイランドでも楽しいひと時となりました。

修学旅行の中で、同級生や先生方だけでなく周りの人や保護者の方々のやさしさ・暖かさを学んだことが、一番の収穫であったと思います。

二泊三日の短い旅ではありましたが、心のやさしい生徒がたくさんいる事に、嬉しさを感じました。

同じく秋に延期された体育大会では、残念ながら、保護者の方々には見ていただけませんでした。あらゆる競技で三年生らしさを発揮し、何とか見てい

ただけたソウラン節では、学年が一つになり、見る人に感動を与えました。

文化発表会でも、新型コロナウイルス蔓延防止制限禍、合唱を含む舞台発表が実施できませんでした。

ただ、映像鑑賞にはなりましたが、文化部の発表や展示作品、特に、学校全体で取り組んだモザイクアートは、とても素晴らしい出来ばえでした。

保護者のみなさんも、わが子の成長を、頼もしく感じられたことと思います。

今、みなさんはそれぞれの進路に向かって、全速力で走っています。

時には、孤独感で押し潰されそうになったり、投げ出されなくなったり、する時も、あると思います。

しかし、君たちは決して、一人ではありません。

困難とともに乗り越えてきた116名の「なかま」がいます。

116名の「なかま」には、116の「人生」があり、116の「個性」がある。

そして、116の「やさしさ」があると信じています。

勇気を持って立ち向かってください。

至出中学校では「人にやさしい教育・人に優しい至中生を育てる」を目標としました。

やさしさとは、相手の個性を尊重し、個性の違いを認めあうことから、生まれてくるものだ、と思っています。

君たちひとり一人の、個性を伸ばすことが、大切だと言う事を、新ためて考

えさせてくれました。

最後に、卒業は、「別れ」

ですが、『次への“出発”』でもあります。

その出発に際し、みなさんに言葉をひとつ贈りたいと思います。

吉田松陰の言葉です。

「今日よりぞ幼心を打ち捨てて 人と成りにし 道を踏めかし」

これは、今日からは親に甘えていた気持ちを捨てて、ひとり立ちした人となるために、力強く歩んでいこう、という意味です。

もう一度言います。

「今日よりぞ幼心を打ち捨てて 人と成りにし 道を踏めかし」

義務教育を終えた今日を区切り、今まであつた甘えを捨てて、力強く歩み、さまざまな場所で活躍され、また、いつの日かふるさと玉出中学校に帰ってきていただくことを願ひ、はなむけの言葉とします。

それでは卒業生のみなさん、お別れのときが来ました。

新しい舞台に立つみなさんが、青春の一ページを過ごした、この玉出中学校を、絶対に忘れないでください。

みなさんが、平和な世界の担い手として活躍されることを、

そして、みなさんの未来が、輝かしく幸多いことを、心より祈念して、式辞といたします。

令和4年3月11日

大阪市立玉出中学校

校長 村瀬香織